

平成 29 年度  
社会福祉法人犬山市社会福祉協議会

事業報告



社会福祉協議会のシンボルマーク

社会福祉及び社協の「社」を図案化し、「手を取り合って明るい、  
幸せな社会を建設する姿」を表現していて、全国の都道府県、  
市区町村社協で共通のマークとして使用しています。

(昭和 47 年 6 月 全国社会福祉協議会 制定)

## ■平成 29 年度事業 活動総括

### ○重点推進事項について

#### 1. 社会福祉法人制度改革への取り組み

社会福祉法人の在り方を改めて位置づけ、経営組織の見直し（ガバナンスの強化）、事業運営の透明性の向上、適正かつ公正な支出管理（財務規律の強化）などを義務づけた社会福祉法人制度改革に4月から施行した新定款、諸規程に則り適切な対応をおこないました。

理事、監事及び評議員については、定数及び選出区分の見直しを図り、より幅広い立場の皆さまに社会福祉協議会の経営に携わっていただくこととしました。

なお、理事、監事の選任、解任の権限や事業内容や予算、決算を決する重要な役割を持つ評議員については、新たに設置した評議員選任・解任委員会により選任いたしました。

また、定款、役員報酬基準、事業計画・予算書及び事業報告・決算書類については、ホームページに掲載し情報公開と運営の透明性向上に努めました。

#### 2. 新たに始まった介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み

町内会、ボランティア、老人クラブなどの地域住民が自主的におこなう高齢者等ののつどいの場作り、「ふれあいサロン（地域サロン）」の開催について、各地区の地域包括支援センターとも連携して、新規開設にあたっての相談支援、ボランティアの派遣や開催助成をおこないました。結果として、民生児童委員の他にも婦人会など新たな担い手も現れ、各地区でサロン活動の増加につなげることができました。

また、要支援相当の高齢者に基準緩和のデイサービスとして、「いきがいサロン事業」の経営を新たに市内5施設でおこない、多くの利用を得ることができました。

加えて、ホームヘルパーの派遣についても、制度改革に対応し、同じく要支援相当の高齢者に介護予防や自立支援のための訪問介護サービスを提供しました。

#### 3. 財政基盤の安定化への取り組み

効率的な事業運営と財政基盤の安定化を目指すために、経営会議を開催し職員のコスト意識向上に努めました。収支予測を元に課題の洗い出しと各事業部門への適正な人員配置をおこない、収入増、支出削減に努め、事業赤字を縮減しました。

また、今後の「地域共生社会の実現」を目指して、犬山市社会福祉協議会の取り組むべきことを見据え、犬山市で手薄となっている障がい者（児）への相談支援体制を強化、補完すべく「障害者基幹相談支援センター」事業を市から受託して、平成30年度4月から新たに事業開始することとしました。

■犬山市社会福祉協議会事業（サービス区分別による）

〔H29 決算 195,517,917 円 H28 決算 196,388,086 円〕

※（ ）内数字は前年度実績

1. 法人運営事業〔H29 決算 57,985,524 円 H28 決算 64,898,600 円〕

□法人運営事業〔H29 決算 57,985,524 円〕

事業名等	実 績	備 考
(1) 理事会等の開催	○正副会長会 7月18日(火) 福祉会館 8月17日(木)     " 12月14日(木)    " ○理事会   5月22日(月)     " 6月 1日(木)     " 3月 8日(木)     " ○評議員会 5月31日(水)     " 3月21日(水) 市民健康館	
(2) 監査の実施	5月18日(木) 福祉会館	
(3) 会員募集	一般会員 16,822件 8,325,053円 (17,263件 8,529,926円) 特別会員 331件 663,500円 (318件 648,000円) 法人会員 370件 1,333,000円 (379件 1,362,000円) 施設会員 6件 12,000円 (7件 14,000円) 計 17,529件 10,333,553円 (17,967件 10,553,926円)  ※世帯加入率 54.8% (56.9%) 30,710世帯 (H29.7.1現在)	※一般会員 会費 500円 特別会員 " 2,000円 法人会員 " 3,000円 施設会員 " 2,000円
(4) ホームページの公開	16,533(14,788)ページビュー 4,961(3,645)ユーザー	

(5) 寄附	一般寄附 10 件 (8 件) 2,231,587 円 (305,028 円)	
--------	--	--

## 2. 地域福祉推進事業 [H29 決算 5,968,091 円 H28 決算 6,549,551 円]

### □地域福祉事業 [5,410,682 円]

事業名等	実 績	備 考
(1) 社協支部の設置と活動支援	社協支部（犬山北・南、城東、羽黒、楽田、池野）への支部事業への助成。 ○支部自主事業 まちなか茶論(犬山北、南) 青色パト防犯交通安全運動(羽黒) 高齢者世帯配食サービス(楽田) ふれあいクロリティ大会(城東)	※支部共通事業 ・社協会員募集、赤い羽根募金、歳末たすけあい募金への協力。 ・福祉施設慰問。
(2) ふれあいサロンへの支援	○助成対象サロン 24(14)サロン ・犬山北地区 2(2)か所 682 人/年 (359 人/年) ・犬山南地区 4(4)か所 4,702 人/年 (2,266 人/年) ・城 東地区 4(2)か所 1,107 人/年 (396 人/年) ・羽 黒地区 10(3)か所 4,423 人/年 (1,036 人/年) ・楽 田地区 4(3)か所 1,826 人/年 (1,105 人/年)	※開催 1 回あたり 1,000 円を助成。(上限 48,000 円) ※新規立上げ費用 15,000 円を助成。
(3) ふれあいサロン食品提供	○提供サロン 45(24)サロン	※29 年度で食品提供元の都合により事業終了。
(4) 福祉車両の貸出し	○貸出数 108 (131) 件 ・リフトアップ車 21 (43) 件 ・車いすスロープ車 87 (88) 件	※無料 ※燃料費実費負担 10 km/100 円

(5) 車いすの貸出し	○貸出数 196 (174) 件、289 (278) 台	※無料(3 ヶ月間を上限)
(6) プロジェクター、スクリーンの貸出し	○貸出数 ・プロジェクター 34(11) 件 ・スクリーン 23(10) 件	※無料
(7) 綿菓子機、ポップコーン機の貸出し	○貸出数 ・綿菓子機 32(27) 件 ・ポップコーン機 20(8) 件	※無料
(8) 高速印刷機の利用提供	○利用団体 延べ 2,272(2,326) 団体	※無料(印刷用紙持参)
(9) 広報紙「社協だより」の発行	○発行回数 年 3 回(7・10・2 月)、各 26,800 部発行	
(10) 市イベントへの参加	○産業振興祭 開催日 10 月 14 日(土)、15 日(日) 場 所 南部公民館 内 容 障害者自立支援協議会による障がい理解の啓発、意思疎通体験(要約筆記、音訳) 赤い羽根共同募金の P R、赤い羽根作品展示  ○秋桜健康福祉まつり 開催日 11 月 5 日(日) 場 所 市民健康館 内 容 ボランティアによる福祉体験コーナー、福祉団体・施設の P R とバザー、赤い羽根作品展示	

□結婚相談事業〔420,509 円〕

事業名等	実 績	備 考
(1) 結婚相談所の開設	登録者数 129(146) 人 うち 男 78(96) 人、女 57(50) 人 来訪者数 735(906) 人 うち 男 493(596) 人、女 242(310) 人	※相談員 7 名 毎週土曜日、第 2 水曜日 登録料 1,000 円 (1 年間有効)

	開催日数	63(61)日	
	お見合い件数	49(66)件	
	結婚成立件数	0(0)件	

□心配ごと相談事業 [136,900円]

事業名等	実績	備考
(1) 心配ごと相談	開設日数 24(24)日 相談件数 19(20)件 内訳(重複有り) 財産1、精神衛生1、結婚1、家族6、 離婚1、住宅2、苦情1、その他6	※第1、3木曜日開設 相談員5名

3. ボランティア活動支援事業

[H29 決算 3,069,444円 H28 決算 3,454,250円]

□ボランティアセンター事業 [1,561,823円]

事業名等	実績	備考
(1) ボランティア団体 ・個人の登録	○ボランティア登録者 154(155)グループ・5,024(5,044)人 個人26(37)人 計 5,050(5,081)人	
(2) ボランティア保険 保険の加入促進	○保険加入者数 活動保険 2,763(2,871)人 行事保険 3,416(4,775)人	※保険料 基本プラン 250~350円 天災プラン 400~590円
(3) ボランティアセン ターだよりの発行	○発行回数 年3回(7・10・2月)、各26,800部発行 「社協だより」内に掲載	
(4) ボランティアセン ターの運営とボラ ンティア相談員の 配置	○ボランティア活動調整件数 ・活動希望 対象 子ども 3(3)件 高齢者・施設 20(21)件 障がい者 1(9)件	※ボランティア相談 相談員2名配置、 毎週月曜日開設

	<p>地域 3(3)件</p> <p>その他 9(19)件</p> <p>計 36(55)件</p> <p>・活動依頼</p> <p>依頼主体 施設・団体 180(100)件</p> <p>個人 5(5)件</p> <p>行政 1(2)件</p> <p>学校 19(22)件</p> <p>その他 1(0)件</p> <p>計 206(129)件</p>	
(5) 福祉体験研修	<p>開催日 3月22日(木)</p> <p>市役所新任職員 23人、</p> <p>ボランティア 13人 計 36(38)人</p>	※市受託事業
(6) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルへの協力、参加	<p>開催日 12月10日(日)</p> <p>場 所 一宮市尾西市民会館</p> <p>参加者 犬山市から2団体出展</p>	※西尾張の14市町村のボランティアが参加。

□ボランティア育成事業 [1,507,621円]

事業名等	内 容	備 考
(1) 「きこえのボランティア」講座の開催	<p>文字で話す筆談コミュニケーション</p> <p>開催日 10/3~10/24 (全4回)</p> <p>受講者 8名</p> <p>場 所 福祉会館</p>	※市受託事業
(2) 手話講座の開催	<p>開催日 11/9~12/9 全4回 (Aコース)</p> <p>11/10~12/1 全4回 (Bコース)</p> <p>受講者 14名 (Aコース)</p> <p>12名 (Bコース)</p> <p>場 所 福祉会館</p>	※市受託事業
(3) 要約筆記者養成講座の開催	<p>パソコン要約筆記体験</p> <p>開催日 2/24~3/17 全3回</p> <p>受講者 10名</p> <p>場 所 福祉会館</p>	※市受託事業

(4) 視覚障がい者支援ボランティア養成講座の開催	開催日 3/2～3/30 全5回 事前学習2回、 ガイドヘルプ、音訳、点訳各1回 受講者 延べ36名 場 所 福祉会館、リトルワールド	※市受託事業
(5) 災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催	開催日 2月24日(土) 受講者 15(15)名 場 所 市役所	※被災時に市と共に立ち上げる災害ボランティアセンターの運営ボランティアの養成。
(6) 夏休み福祉体験学習の実施	開催期間 8/1～8/25 受入施設 49(51)施設 参加者 14(14)校 398(489)人	※市内福祉施設での体験
(7) ボランティア連絡協議会への活動支援	○登録ボランティア団体 24(24)グループ、個人3(4)名 764(763)人	
(8) ボランティア団体への活動支援	○助成団体 54(48)グループ	

#### 4. 共同募金配分金事業

[H29 決算 12,215,443 円 H28 決算 13,007,687 円]

※平成29年度共同募金実績（実施：犬山市共同募金委員会）

種 別		金 額 (円)	前年度比(円)
赤い羽根募金	戸別等募金	6,615,329 (6,828,208)	▲212,879
	事業所募金	617,000 (661,000)	▲44,000
小 計		7,232,329 (7,489,208)	▲256,879
歳末たすけあい募金		5,942,560 (5,932,266)	10,294
合 計		13,174,889 (13,421,474)	▲246,585



□一般募金配分金事業〔6,478,278円〕

事業名等	内 容	備 考
(1) 95歳敬老記念品の贈呈	○贈呈対象者 52(63)人	※贈呈品 カタログギフト
(2) 初めて出会う絵本プレゼント	○贈呈対象者 291(351)人 一親子 絵本2冊	※生後5か月健診の際に プレゼント。
(3) 修学旅行支度金の助成	○助成対象者 小学生 47(39)人 中学生 61(51)人 高校生 32(36)人 計 140(126)人	※助成額 小学生 10,000円 中学生 15,000円 高校生 20,000円
(4) 手押し車(シルバーカー)購入費一部助成	○助成対象者 73(87)件	※定額5,000円
(5) 車いす購入費一部助成	○助成対象者 9(9)件	※定額8,000円
(6) 弁護士による法律相談	開催日数 12(12)回 相談件数 96(98)件	※月1回第1木曜日開催
(7) 「福祉実践教室」の開催	開催校 11(12)校 参加者 2,366(1,940)人 協力者 285(221)人	※実施校 小学校9校 中学校2校
(8) 災害見舞金支給	○支給対象者 全焼 2(2)件 半焼 0(1)件 浸水 0(0)件	※見舞金 家屋全壊 30,000円 家屋半壊 15,000円 床上浸水 10,000円
(9) 雇用準備資金の貸付	貸付件数 6(11)件 貸付金額 165,000(285,000)円	※貸付上限額30,000円 無利子、据置期間3か月
(10) 生活困窮者支援資金の貸付	貸付件数 16(22)件 貸付金額 373,000(543,600)円	※貸付上限額30,000円 無利子、据置期間3か月
(11) 法外援護の実施	法外援護 26(42)件 食料支援 15(11)件	※生活費 最高10,000円 行旅人 最小限の旅費
(12) 子どもの遊び場遊具の助成	助成件数 0(0)件	※修理費の3/4以内 上限100,000円

(13) 福祉団体への活動支援	○助成団体 民生児童委員協議会、身体障害者福祉協会、更生保護女性会、心身障害児(者)父母の会、尾北地区聴覚障害者福祉協会、単位子ども会、市子供会育成連絡協議会、しらゆり会	
(14) 社協だより「共同募金」の特集	10/1号に共同募金特集を掲載	※年1回

□歳末たすけあい配分金事業 [5,737,165円]

事業名等	実績	備考
(1) 歳末慰問金品の贈呈	○贈呈対象者 ・生活保護世帯 251(243)世帯 ・準要保護世帯 209(195)世帯 ・母子生活支援施設入所者 2(10)世帯 ・在宅重度障害者手当受給者 8(8)人 ・特別障害者手当等受給者 54(46)人 ・特別児童扶養手当受給者 163(158)人 ・経過的福祉手当受給者 1(1)人 ・障害児福祉手当受給者 4(2)人 ・市内福祉施設入所者 213(206)人 ・市外福祉施設入所者 39(37)人 ・東日本大震災避難世帯 5(5)世帯 他 乳児院「赤ちゃんの家さくらんぼ」 特別養護老人ホーム「ぬく森」、 「ぬく森第二」、「白寿苑」	※贈呈内容(※29年実績) ・生活保護世帯 4,000円 ・準要保護世帯 4,000円 +就学児童×2,000円 ・特別障害者手当等受給者 3,000円 ・母子生活支援施設入所者 4,000円+2人目以降世帯員×2,000円 ・児童、障害者施設入所者 3,000円 ・介護老人施設、乳児院施設に 20,000円 ・養護老人ホーム、援護寮慰問品1人1,200円相当 ・震災避難世帯 4,000円 +2人目以降世帯員×2,000円
(2) 子ども会交流事業の実施	○助成対象者 11(11)子供会 993(1,024)人 ※29年度実施子供会 朝日ヶ丘第2、高橋、天神町、内田、	※助成額 参加者一人につき300円 食事提供があれば500円 ※上限額 50,000円

	西楽田団地ゆめ広場、中町、木ノ下、 第1桜ヶ丘、第2桜ヶ丘、橋爪中、 犬山ニュータウン	
(3) 視覚障がい者交流会の開催	開催日 3月31日(土) 参加者 58(45)人	※視覚障がい者とボランティアの交流。
(4) いもほり交流会	開催日 11月2日(水) 参加者 228(262)人	※養護老人ホームと近隣未来園等との交流。
(5) 福祉団体の実施する事業への助成	○開催内容 ・市老人クラブ連合会スポーツ大会 開催日 9月27日(水) 参加者 500(700)人 ・犬山市ボランティア連絡協議会 「ボランティアのつどい」 開催日 11月25日(土) 参加者 550(650)名 場 所 南部公民館 ・心身障害児者父母の会「クリスマス会」 開催日 12月10日(日) 参加者 141(125)人 ・母子寡婦福祉会「入進学児童激励会」 開催日 2月10日(土) 参加者 83(88)人 ・身体障害者福祉協会 「身体障害者ふれあいクロリティ大会」 開催日 2月12日(月・祝) 参加者 107(105)人 ・保護司会「社会を明るくする運動」等	
(6) 声の広報	○配付対象者 17(19)人	※月2回録音、配付
(7) おもちゃ図書館、おもちゃ病院	○おもちゃ貸出し 開催日数 68(68)日 利用者数 796(827)人 貸出数 421(433)点	※開設日 毎週水曜日、 第1・3土曜日

	○おもちゃ修理 修 理 数 346(375)点	
(8) こころの居場所 「はなみずき」への支援	開設日数 23(22)日 開設場所 余遊亭 参加者数 454(344)人 (ボランティア含む) 運営会議の開催 2回	※開催日時 毎月第1・3火曜日 13:00~17:00 開催 利用料: 100円(お茶代)

## 5. 居宅介護支援事業

[H29 決算 18,166,019円 H28 決算 25,758,624円]

事業名等	実 績	備 考
(1) 居宅介護支援	○ケアプランの作成 ・介護予防サービス計画作成 要支援1 174( 211)件 要支援2 142( 171)件 <hr/> 計 316( 382)件  ・居宅介護サービス計画作成 要介護1 560( 758)件 要介護2 280( 326)件 要介護3 157( 213)件 要介護4 74( 85)件 要介護5 35( 28)件 <hr/> 計 1,061(1,410)件	※公正中立の立場で、介護支援専門員(ケアマネジャー)が利用者本位の介護(予防)サービス計画を作成。

6. 訪問介護事業 [H29 決算 33,665,575 円 H28 決算 30,957,001 円]

□訪問介護事業

事業名等	実績	備考
(1) 訪問介護・ 介護予防訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体介護 1,288(1,301)回 638(683)時間</li> <li>・ 生活援助 5,310(4,339)回 4,609(3,904)時間</li> <li>・ 身体・生活介護 422(290)回 470(348)時間</li> </ul> 計 7,020(5,930)回 5,717(4,935)時間	※介護保険の要支援・要介護認定を受けた方を対象に、自立した日常生活を営むことができるよう生活援助及び身体介護などの介護サービスを提供。 ※市総合事業地域支援事業により要支援相当と認められた方へ生活援助の実施。
(2) 介護保険適用外ヘルパー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活援助 27(一)回 18(一)時間</li> </ul>	※自主事業

□障がい者居宅介護事業

事業名等	実績	備考
(1) 居宅介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身体障がい者               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体介護 1,634(1,949)回 1,371(1,585)時間</li> <li>・ 家事援助 330(414)回 223(265)時間</li> </ul> </li> <li>○知的障がい者               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体介護 1(3)回 2(7)時間</li> <li>・ 家事援助 260(306)回 291(292)時間</li> </ul> </li> <li>○精神障がい者               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体介護 45(0)回 23(0)時間</li> </ul> </li> </ul>	※障がい者が自立した日常生活を営むことができるよう、家事援助や身体介護など生活全般にわたる援助を実施。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事援助 211(297)回 250( 344)時間</li> <li>計 2,481(2,969)回 2,160(2,493)時間</li> </ul>	
(2) 同行援護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護有 380(348)回 554(527)時間</li> <li>・介護無 0( 0)回 0( 0)時間</li> </ul>	※視覚障がい者で、移動に著しい困難がある方に、外出時に同行し、移動の援護等の支援を実施。
(3) 移動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護有 199(187)回 127(104)時間</li> <li>・介護無 0( 0)回 0( 0)時間</li> </ul>	※市受託事業 ※屋外での移動が困難な障がい者(児)が、社会生活に不可欠な外出や社会参加のための外出時の援助を実施。

## 7. 相談支援事業 [H29 決算 11,502,408 円 H28 決算 11,419,357 円]

### □障がい者地域相談支援センター事業 [9,202,238 円]

事業名等	実績	備考
(1) 一般相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域移行支援 0( 0)件</li> <li>・地域定着支援 0( 0)件</li> </ul>	※地域移行支援 ※地域定着支援 入所施設等を利用する者を地域での生活へ移行するための支援や単身で生活をはじめた者に常時の連絡体制を確保する等の支援を実施。
(2) 特定相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス等利用計画作成件数 障がい者 313(314)件</li> </ul>	※障がい者からの相談に応じ、事業者等との連絡調整をおこない、福祉サービスを利用するための計画作成等を実施。

(3) 障がい児相談支援	・ 障がい児支援利用計画作成件数 障がい児 66 ( 71) 件	※障がい児等からの相談に応じ、事業者等との連絡調整をおこない、福祉サービスを利用するための計画作成等を実施。
--------------	-------------------------------------	--

□日常生活自立支援事業 [2,300,170 円]

事業名等	実 績	備 考
(1) 日常生活自立支援 の実施	利用者 17 (17) 人 内訳: 高齢者 12 (12) 人 知的障がい者 2 (2) 人 精神障がい者 3 (3) 人	※高齢者や障がい者等で判断能力に不安があり自己選択・決定の難しい方へ金銭管理等の支援を実施。

## 8. 高齢福祉推進事業

[H29 決算 42,150,844 円 H28 決算 39,851,987 円]

□敬老事業 [2,915,026 円]

事業名等	実 績	備 考
(1) 「75 歳のつどい」 の開催	開催期間 9 月 4 日 (月) ~ 8 日 (金) の連続 5 日間 開催場所 名鉄犬山ホテル 対象者 1,037 (1,093) 人 参加者 567 (580) 人 犬山北地区 82 ( 99) 人 犬山南地区 135 (130) 人 城東地区 105 (111) 人 羽黒・池野地区 144 (155) 人 楽田地区 101 ( 85) 人	※市受託事業

□老人クラブ連合会指導員派遣事業〔1,686,242円〕

事業名等	実績	備考
(1)老人クラブ指導員の配置	市老人クラブ連合会指導員1名	※市受託事業 ※単位老人クラブ及び市老連の行事や活動の相談・指導、事務のため、老人クラブ指導員を配置。

□いきがいサロン事業〔37,549,576円〕

※市総合事業地域支援事業通所型サービスA型（基準緩和したデイサービス）として、市受託事業を引継ぎ、平成29年4月から自主事業として新規事業開始。

・開設日 月～金曜日（祝日開催） ・時間 10:30～15:30

施設名		犬山西サロン (犬山西老人憩の家)	前原サロン (前原老人憩の家)	丸山サロン (ふれあいプラザ)	羽黒東部サロン (羽黒東部老人憩の家)	犬山北サロン (福祉会館長寿館)	計
開催曜日		月・火 水・金	火・水・木	月・金	火・水・木	月・木	
延べ 利用者 (人)	男	309	84	42	232	122	789 (839)
	女	1,266	2,128	1,308	2,810	892	8,404 (9,312)
	計	1,575	2,212	1,350	3,042	1,014	9,193 (10,151)
ボランティア(人)		87	102	125	343	60	717 (1,185)
開催日数(日)		152	152	153	204	101	762 (967)
一日平均 利用者数(人)		10.3	14.5	8.8	14.9	10.0	12.1 (10.5)

※（ ）内は平成28年度市受託事業時の実績



## 9. 資金貸付事業 [H29 決算 748,390 円 H28 決算 418,562 円]

### □生活福祉資金貸付事業

事業名等	実 績	備 考
(1) 福祉費	○貸付実績 2(2)件 216,000(1,542,000)円	技能修得、住宅改修、障がい者用自動車購入、療養、冠婚葬祭等費用の貸付。
(2) 総合支援資金	○貸付実績 0(0)件 0( 0)円	失業等による生活の困窮者に生活支援の貸付。
(3) 緊急小口資金	○貸付実績 0(1)件 0(64,000)円	緊急一時的に生計の維持が困難になった場合少額の経費の貸付。
(4) 教育支援資金	○貸付実績 1(0)件 2,520,000( 0)円	高校、短大、大学、専修学校への修学費用と入学費用の貸付。
(5) 不動産担保型生活支援資金	○貸付実績 0(0)件 0( 0)円	自己所有の建物、土地を担保として高齢者世帯に対し生活資金の貸付。
(6) 臨時特例つなぎ資金	○貸付実績 0(0)件 0( 0)円	生活保護などの受給が決定している者に給付までの間の生活費を貸付。

### □くらし資金貸付事業

事業名等	実 績	備 考
(1) くらし資金	○貸付実績 3(0)件 300,000( 0)円	不時の出費等の為に、くらしの維持が困難になった世帯に生活費等を貸付。

10. 基金運営事業 [H29 決算 10,046,179 円 H28 決算 72,467 円]

□市民福祉基金運営事業 [45,970 円]

事業名等	実績	備考
(1) 市民福祉基金	○累計積立額 116,426,556(116,426,556)円 基金で得られた利息 45,970(38,045) 円を地域福祉事業の一部に充当。	基金の利息を一般会計に繰入れ、地域福祉事業の財源として活用。

□運営基金運営事業 [10,000,209 円]

事業名等	実績	備考
(1) 運営基金	○累計積立額 12,819,000(22,819,000)円 基金で得られた利息 209(34,422)円 を法人運営事業の一部に充当。 ※補正予算に対応するため、平成 30 年 3 月に 10,000,000 円を取り崩し。	各自主事業所の設備等の更新費用、採算悪化への準備金として活用。



「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに